

1 国語力の育成について

- ・ 子どもたちの話を最後まで聞いて欲しい。教師が「聞く」ことで、その子自身も「聞く」子どもに育つ。そして、安心して「話す」子どもになる。また、教師自身も分かる話をするように心がけることが大切である。
- ・ 子どもの実態を分析し、どのような国語力を付ける必要があるか、教師間で共通理解して取り組むことが国語力の向上につながる。

2 効率化を図るために

- ・ 身に付けたい力が何か、コンパクトにねらいを絞って、単元化を図る。
- ・ もっと多様な教材にふれられるように、教材開発をしていく。
- ・ 年間指導計画を見直し、児童の実態に沿ったことばの教育をしていく。

3 教師間で共通理解を図ることが大切

難しく考えすぎずに、低・中・高学年でどんな力を身に付けさせたいのかという共通認識をもって指導していく。全教科でというのなら、一層はっきりとした共通認識をもって対応していってほしい。